

※対面形式により開催します。

・定員は対面 80 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。

1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。

個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。

・土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育(CPD)に関する参加証明書を交付します。

なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。

・不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

令和 6 年 10 月吉日

各 位

軟弱地盤研究会（第 199 回）のご案内

軟弱地盤研究会

会長 日野剛徳

日 時：令和 6 年 11 月 27 日（水）14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：【対面】佐賀県建設技術支援機構 3F 研修室

（〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 TEL 0952-97-5595）

<https://goo.gl/maps/KP7Cx7ni8ZqhPE5B6>

駐車場は外部駐車場をご利用ください（添付資料を参照）。

話 題：深層混合処理工法のこれから

講演者：北誥ジオテクニクス 代表 北誥 昌樹 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

深層混合処理工法は 1970 年代に開発された後、多くの方々のご努力によって今では社会資本整備に必要な地盤改良技術になった。最近では、技術者不足や IT 技術の発展を受け、I-construction などの最近のデータ処理技術を駆使した高度な施工や施工管理が導入されてきている。その一方で、工法の経済化と高度化を図るあまり、長年にわたり現場での蓄積された経験知や暗黙知などが活かされず、当初の設計思想や前提条件、施工管理などから逸脱した事例も見られる。講演では、工法のさらなる発展のために、現行の設計法や施工、施工管理法とその背景にある経験知や暗黙知を簡単に紹介する。

※参加希望の方は 11/20（水）・12:00 までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聰容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: asgt@sagacat.or.jp

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 （公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603